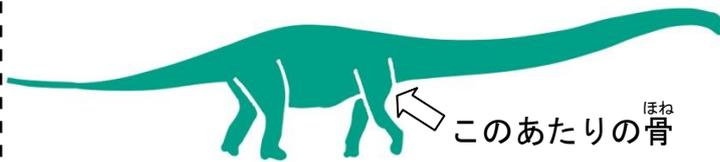


2015年6月

体験学習室 No.10

けんぱくものしりシート

アパトサウルス



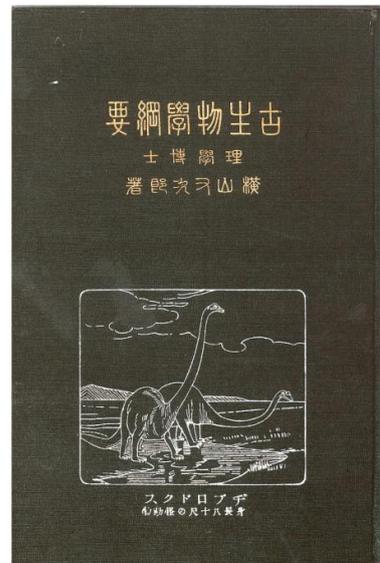
アパトサウルス
見つかった場所：アメリカ合衆国
生きていた時代：後期ジュラ紀
化石の長さ：約110cm

これは、アパトサウルスという恐竜の上腕骨の化石です。上腕骨というのは肩からひじまでの骨のことですが、この部分だけでもずいぶん大きいですね。アパトサウルスは、北アメリカ大陸にすんでいた首としっぽが長い4本足の恐竜です。頭からしっぽの先までは21mから26mほど。群れをつくって森の中で木の葉を食べてくらしていたと考えられています。

ところで、岩手が生んだ詩人で童話作家の宮沢賢治は、『樫ノ木大学士の野宿』という童話の中で、このアパトサウルスを登場させています。物語の場面は、主人公の樫ノ木大学士が、夢の中で三陸海岸と思われる海辺を歩いているうちに、いつのまにか白亜紀にタイムスリップして雷竜の群れに出くわす、というものです。この雷竜というのがアパトサウルスのことなのです。

こせいぶつがくこうよう
* 古生物学綱要 *

みやざわけんじ かつやく よ おおむかし
宮沢賢治が活躍したころに読まれていた大昔
の生きものについての教科書。アパトサウル
スはかつてはブロントサウルスとも呼ばれ、
日本語には雷竜（またはかみなりりゅう）と
訳されました。『樫ノ木大学士の野宿』が書か
れたころは白亜紀の恐竜とされていましたが、
現在ではもう少し昔、1億5000万年ぐらい前の
ジュラ紀の恐竜ということがわかっています。



みやざわけんじ もりおかこうとうのうりんがっこう げんざい いわてだいがくのうがくぶ ちそう がんせき
宮沢賢治は、盛岡高等農林学校（現在の岩手大学農学部）で、地層や岩石に
ついでの学問である地質学を専門的に学びました。2009年、岩手大学の図書館
から、『古生物学綱要』（上を参照）や当時の東北地方の地質図（地層や岩石
の分布を示した地図）が発見されて、賢治が恐竜や岩手の地質についてく
わしく勉強していただろうということがあきらかになりました。当時の人は
おそらく誰も考えつかないようなこの童話は、地質学についての深い知識を
持った賢治だからこそ生み出したものだったのです。

けんじ な ねんご さんりくかいがん ほんとう
賢治が亡くなって45年後、三陸海岸からは本当にアパトサウルスのように
くび なが ほんあし きょうりゅう かせき はっけん にっぽん さいしよ きょう
首としっぽの長い4本足の恐竜の化石が発見されました。日本で最初の恐
竜、岩手県岩泉町のモシリユウです。岩手県では、これからも恐竜化石
の発見が期待されています。

さんこうにしたほん 『21世紀こども百科 恐竜館』 小学館 2007年

らいげつ がつ
来月（7月）の
けんぱくものしりシートは
ちしつ
地質-11だよ！
おたのしみに！



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>